

今月の聖句

『あなたを照らす光は昇り
主の栄光はあなたの上に輝く。』
(イザヤ書 第60章1節)

◎1月の予定

6日(月) 教務委員会・教職員協議会
7日(火) 3学期始業礼拝
8日(水) 給食開始
9日(木) 聖書教室
9日(木)・10日(金) 入学願書受付(小)

転入学願書受付(小・中)

14日(火)・16日(木) 体験学習②(中)
15日(水)・16日(木) 入学願書受付(中)
17日(金) 自宅学習日(小)
17日(金)・18日(土) 小学校入学考査②
19日(日) 大磯一周駅伝
22日(水)・24日(金) 転入学体験学習③(小・中)
22日(水) 教務委員会
30日(木) マラソン大会・教職員協議会
31日(金) マラソン大会予備日

◎2月の予定

4日(火) 授業参観・保護者会
7日(金) 自宅学習日(中)
7日(金)・8日(土) 中学校入学考査
13日(木) 校内研修会



「クリスマス礼拝」

12月12日(木)



小学校 聖劇

『クリスマスのおはなし』

「子どもたちの祝会」
「クリスマス祝会」

13日(金)・14日(土)

中学校

オリジナル劇

『虹を渡る』



あけましておめでとうございます。

昨年も本学園のはたらきのためにご協力をいただき、ありがとうございます。いよいよ三学期です。それぞれの学年をまとめて次へとつなげていきたいと思ひます。

本年もよろしくお願ひいたします。

◎今月の行事から

○中学校 新年会 10日(金)

毎年行われている行事ですが、この日生徒たちは書初めや百人一首をして楽しみます。百人一首はクラス対抗で行われるため、休み時間にも練習をするほどの熱の入ります。そして、そのあとはお餅を食べたり羽根つきをしたりして、最後の学期をスタートします。

○マラソン大会 30日(木)

大磯運動公園にて行われます。距離は小学1・2年生(1.2km)、小学3・4年生(1.7km)、小学5・6年生(2.2km)、中学生(3.4km)です。当日まで体調を整え、それぞれ自分が出し切った走ってほしいです。練習にも水筒・防寒着やタオルの用意を忘れずにお願ひします。

当日、大磯運動公園は一般の方も利用されています。コース内に入らないなど、大会がスムーズに進められるようご協力をお願いします。



足元を確かめ前進するとき

学園長 小川 正 夫

皆様とご一緒に平和のうちに新年を迎えることができますことを本当に嬉しく思います。感謝の思いでいっぱいです。皆さんの温かいご支援にお応えできますよう、これから確り努力してまいります。

昭和の時代は世界中が戦争の恐怖と悲しみに巻き込まれ、正確な数字はわかりませんが、千数百万人といわれる多くの人が犠牲になったと聞いております。

平成の時代は、日本ばかりでなく世界各地で大きな災害が発生し、被災者が立ち直ることが困難なほどの打撃を受けました。その影響はあまりにも甚大で解決できず、復興には今もなお課題が山積です。

世界の力ある国々は、自分の国最優先で格差と混乱が益々拡大し、協調性が薄れていくように感じられる中で、日本は令和の時代を迎え、最初に迎える新年に世界中から若者が東京を中心に日本に集まり、国際オリンピック、パラリンピックが開かれるのはとても大きな意味があると思います。

私達にはとても解決できるような問題ではありませんが、出来ないこと探して迷ったり、適当に妥協したりせず、出来ることといえ、年の初めに、しっかりと自分の足元を確かめることが必要かと思えます。

聖ステパノ学園では、学校の知名度や権威を背景に、教師が子どもを選抜することではなく、様々な環境、様々な状況におかれた一人ひとりの子ども達の教育に必要とされる協力者として、私達教師が子ども達から選ばれていると自覚し、使命感を持ち続けているかどうか。

学校生活の中には常に祈りがありますが、教職員・児童・生徒が毎朝共に祈るとき、思いと言葉と行いの中で気付かずには子ども達を傷つけていることはないかを反省しているかどうか。

ありのままの子ども達一人ひとりを、そのままで良いと思わず、少しでも持っている力を建設的に生かす努力ができるように支援しているかどうかをみずから問いかけているかどうか。

願いを込め、子ども達一人ひとりが必要としている多様なニーズを探しだし、それに応える努力をしているかどうか。

もし、この子が自分の子どもだったら、どんな支援をしてほしいか、どんな扱いをしてほしいか真剣に考えていたかどうか。

自分の行いや言葉が、子ども達の発達心理にどのような影響を与えているか、考えていたかどうか。

聖ステパノ学園は特別な子どもが集まっている特別な学校ではなく、特色のある人間教育を実践する優れた学校だと認識しているかどうかです。



学園内七曲り坂より富士山を望む

* * *

私事で恐縮ですが十二月三日、心臓大動脈弁閉鎖不全、心臓肥大で弁置換開胸手術のために慶応義塾大学病院入院、五日手術。高齢での大きな手術でしたので医師の意見もかなり慎重でいろいろありましたが、無事手術が終わりました。

しばらくはリハビリで、経過観察と体力の回復が必要ですが、元気になりました。ご心配おかけしましたが、二月には復帰する予定です。

ゲームで楽しく『条件分岐』

教諭 澤邊 嵩介

「二〇一一年に小学生になった子どもの65%は将来、今は存在していない職業に就く」

「今後10年〜20年程度で、半数近くの仕事は自動化される可能性が高い」

「人工知能の発展で二〇四五年以降は人間の脳では予測不可能な未来が到来する」

TVやWEBニュース、授業や研修会などで、ほとんどの人がこういった話を見聞きしたことがあるのではないだろうか。

近年の急速な技術革新の進展により、今の子どもたちが大人になる頃の社会は、AIやロボット、スマホやVR技術、新たな媒体が社会に溶け込んでいることが予測できます。二〇一八年には、スターウォーズに登場するような、空中に浮かぶ立体映像を現実でも投影できる体積型ディスプレイが発表された、というのが記憶に新しいですね。

そういった世の中の動きを受け、全国の小学校では、プログラミング学習を二〇二〇年から全面实施するために、準備をしています。私自身は、自分が小学生の頃は、情報の授業でパソコンでホームページを作ってみようという活動くらいしかしたことがないので、四月からのプログラミング学習に向けて、事例や教材を集めています。

今年の夏休みは、日本私立小学校連盟夏季教職員研修会のメディア教育部会で、プログラミング学習について学んできました。

様々なソフトウェアやタブレット端末向けのアプリケーションによるプログラミング学習について紹介がありました。

その中で、特に印象深かったのは、『マインクラフト“Education Edition”』というプログラミング学習の教材でした。

『マインクラフト』と言えば、世界的に大人気なゲームですね。ブロックを設置して様々な物を作ったり、冒険に出かけたりして楽しむゲームです。今では、PCやスマートフォン、家庭用ゲーム機などでプレイすることができ、全世界で一億人以上の人がプレイしたことがあるそうです。ゲームをしたことが無くても、YouTubeでマインクラフトのプレイ動画を楽しんだという話も、クラスの子どもから聞いたことがあります。私も友人の家でプレイさせてもらい、楽しく家づくりをした思い出があります。

『マインクラフト“Education Edition”』では、マインクラフトのゲーム性をベースにし、プログラミングの基礎である条件分岐や繰り返しなどといった概念を学習して、問題解決に取り組むといった活動に取り組みます。

さて、マインクラフトでのプログラミング学習とはどのように行われるのでしょうか。

マインクラフトの中にはスイッチや回路を作れるアイテムがあります。それらを組み合わせると、『スイッチを入れると扉が開く』というようなプログラムが作れます。これに、条件分岐の基礎となる基本論理回路「AND回路」「OR回路」「NOT回路」「NAND回路」「NOR回路」を組み込むと、様々な問題を解き、正しい組み合わせでスイッチを入れて、扉を開けて先に進むゴールを目指す、と言うようなちよつとしたゲームが作れます。(ちなみに、『AND回路』は『全てのスイッチがONになれば扉が開く』『OR回路』は『どれか一つでもスイッチがONになれば扉が開く』『NOT回路』は『スイッチがONになれば扉が開まる』……という風に、基本論理回路の考え方が上手くゲームの中に落とし込まれていました。)

文字で見るとややこしいですが、実際にプレイすると、ゴールに進むために条件分岐のルールを理解して、考えつつも楽しみながら学ぶことができました。

プログラミング学習と聞くと、今までそういったものに触れた事のない大人は「難しいもの」というイメージを持つ人も多いでしょう。この、未知のことに対する苦手感というのは、子どもも大人も共通して持つものです。だからこそ、ゲーム感覚で大人も子どもも楽しく学んでいくことが大切なのだろいうな、と今回の研修に参加して感じました。

ステパノならではの活動

光の子タイム

教諭 赤田 祐章

聖ステパノ学園のように私学の学校は、授業が終わり家に帰ってから、学校の友達と遊ぶことがほとんどできません。「学校のお友達と遊ぶ時間を作って欲しい」という保護者の願いから生まれたのが『光の子タイム』です。

金曜日の放課後、十四時四十五分ごろから十五時十五分までの約三十分間行われています。

この時間は、小学校一年生から三年生まで、自分たちが遊びたいことを、思い思いに楽しめます。

サッカーをするグループがあれば、バスケットゴールめがけて、ボールを投げるグループがあります。フラフープで電車ごっこをするグループ、鬼ごっこで遊んでいるグループ、自作のおもちやで遊ぶグループもあります。

晴れの日にはグラウンドで、雨の日には新しくなった体育館で行います。



学校の休み時間は、どうしても短すぎます。もっと遊びたいと考える子どもたちの願いを叶えることができません。まとまった時間を、友達と過ごし、更に親交を深めていって欲しいです。
『光の子タイム』は、一人ひとりの笑顔が輝く時間です。



ニコニコランチ

教諭 難波 寛

ニコニコランチ（通称ニコラン）は、五月、十一月の年2回小学生と中学生全員が12班に分かれて、みんなで楽しくご飯を食べるという行事です。他の行事で小学生と中学生が一緒に活動することはありますが、ゆっくりと話し交流する時間はありません。中学生には小学生の子たちと仲良くなる時間として、小学生には中学校のやさしいお兄さんお姉さんと一緒に過ごす楽しい時間、教員にとっても普段接しない児童・生徒と接するよい交流の場となっています。

このニコランは中学校の代表委員会が企画・運営しています。中学校では、全員が生徒会の活動に参加しています。生徒会には代表委員会、健委員会、放送委員会、新聞委員会、環境美化委員会、図書委員会の七つの委員会があり、それぞれ中学校生活をよりよくするために日々活動しています。特に、代表委員会は各学年の代表者が集まり、学校の代表として活動を行っています。その代表委員会の活動の一つがニコランです。

五月のニコランではご飯を食べたあとに班対抗レクリエーションが行われました。代表委員会で小・中学生の仲を深めてもらうことを目的に企画をしました。班で協力しゴールを目指すレクリエーションをみんな楽しんでくれた様でした。これからも代表委員会では貴重な小・中の交流の場となっているニコランを大切にしていきたいと思っています。



焼きそば大会

教諭 二挺木 健太

中学校では〇〇大会と呼んでいるものがたくさんあります。例えば、流しそうめん、スイカ割り、焼きいも、焼きそばなど、学年の枠を超えて同じ釜のご飯を食べ、絆を深めています。その中で今回は焼きそば大会を取り上げます。

焼きそば大会では毎年、学年末試験終了後、中学校の中庭で野外炊事をします。名前の通り焼きそばを作ることはもちろん、各学年で一種類ずつ鍋ものも作り、小学校六年生を招待してみんなで美味しく頂きます。

そもそも、なぜ焼きそば大会が始まったかというと、小学校六年が中学生の活動を見学し、一緒にご飯を食べ、仲を深めることで、中一ギャップを少しでもなくせるようにと始まったのがきっかけです。六年生から見た中学生は『真面目』であったり、『何事にも一生懸命頑張る』などのイメージがあるようで、私たちが思っているよりもハードルが高いと感じていたり、中学生になったらもっと頑張らなきゃいけないと思っている児童もいます。しかし、実際に楽しそうに野外炊事をしている様子を見て、そして、一緒にご飯を食べることでお互いに打ち解けることが出来ます。そういった中学校の雰囲気を実際に肌で感じることで、小学生と中学生の交流の場が身近にあることがステパノの魅力の一つです。

もう一つ、ステパノならではの取り組みとして、どんな時でも一人ひとりの役割があることです。焼きそば大会ではシェフ、パティシエ、火の番、給食の配膳、おにぎりを握るなどさまざまな係があり、自分の出来る係に取り組んでいくことが出来ます。全員の力が少しずつ合わさって、一つの物を作り出すことが出来るのもステパノならではの取り組みです。

今後またくさんの大会をみんなで考え、楽しく学び、生きる力を育んでいってほしいです。

森のおとまり

教諭 飯田 幸子

ステパノだより（七・八月号）で赤田教諭が「森のおとまりのはじまり」のきっかけが東日本大震災にあることを紹介してくれました。この小学校低学年の活動は「学校を舞台に」子ども達が主体的に活動するためにと考えられています。目標は①宿泊をすることで日常ではできない体験をする

②自分でできることを増やす

③異学年の友だちと協力して仲良く生活するの三点。それを具現化するために担当が毎年色々と工夫したプログラムを考え、特に三年生の子ども達とは一緒に細かなことまで計画していきます。

「始まりの会や終わりの会の司会進行」「プログラム作り」「夕食のカレー作り」「後片づけ」。さらには、「礼拝の奏楽」「一・二年生へのお手紙作り」まで子ども達が「学校という場」で、やってみたいことから話し合いを始め、それぞれが練習や実習を重ねて、その中でできることをひとつずつ増やしながら、当日を迎えます。一・二年生も自分達の使うランチョンマット作りや夕食後の片づけなど日常の生活＋アルファの部分でさらに自分でできることを増やしていきます。

「森のおとまり」は低学年の中での最高学年としての三年生が、自分達の役割や責任を考え、おとまりを成功させるために準備をしていくこのようなプロセスや一・二年生にとっては着替え、歯磨き、食事などの「生活の基本」を見直す機会として、大変有意義な活動であると言えるでしょう。



「小学校」12月14日のクリスマス祝会で、今年は、聖劇「クリスマスのおはなし」をやりました。

くりすますしゅくかいのこと、ぼくはおほしがひかるのうたとちゅうがくせいのおげきがたのしかったです。ちゅうがくせいのアビイのげきがおもしろかったです。

(小一 SR)

今日、クリスマス祝会でげきをひろうしました。ぼくは、ずっと預言者の練習をしてきて、本当に良かったなと思いました。なぜなら最初に出てきてげきの始まりを知らせ、今後の人達に伝わるように、巻物に記す大事な役だからです。でも、少しむずかしいセリフがあつたりして心配でした。でも、はずかしがらずに、堂々と大きな声で、みんなにイエス様のたん生を伝えました。そして、最後には、みんなで完成させた最高のげきが出来ました。家に帰ってお母さんが、「がんばったね。かつこよかったよ。」と言ってくれたのでうれしかったです。

(小四 HU)

クリスマスのげきの本番をやりました。きんちようしていたのですが、やってみると、集中できて良かったです。

げきが終わって最後に、みんなでハイタッチをして、よろこびました。無事に成功してうれしかったです。

(小四 MH)



今日、ついにきた！クリスマス祝会でした。今日はなんだかそわそわする気がします。が、「博士として、がんばる」と思いました。「次、小学生！」と言われると、ますますきんちようが走りまわりました。今日は、おばあちゃんたちが来ていました。めちやめちやきんちようしました。心配だった最後のシーンでは、『みつかいの主なるおおきみ』が全部歌えました。そして、幕がとじて終わりました。きんちようしたけど、楽しくやりきりました。

(小五 KS)

今日は、クリスマス祝会の本番をやりました。最初の時は、こわくて、覚えたせりふをわすれそうだったけど、ゆっくりしゃべるとだんだんわかってきてよかったです。次のクリスマス祝会は、どんな役者か、楽しみです。

(小五 KH)

委員会報告「環境美化委員会」

今日は、環境美化委員のことについて話します。最初のころは、ほうきの色分けや窓ふきから始めました。今では、校内でグラウンド、外ろうか、レリーフなどをきれいにしています。今日は、レリーフをきれいにしました。ツリーの周りの枝をどかしたり、石垣の枯れた枝を集めたりしました。草取りや枝集めは、めんどくさそうな仕事と思われがちですが、実は最も楽しい仕事だと思います。環境美化委員では毎日のように、リヤカーで枯葉を運んでいます。最近では、そのかたまりを山の奥の方へ押しつぶす必要がありますので、けっこう大変です。そういうところもふくめて楽しいです。

(小六 KF)

第87回全国書画展覧会 書の部

金賞

小6 OM、FH 中1 FY 中2 OR
中3 IN、SN、NS、MA

銀賞

小4 IH、MH 小5 KS、SS、
YD 小6 SA、MA

銅賞

中1 AT、AH 中2 NK、MM
中3 SA、SA、NY、FJ
小4 MA 小6 MK 中1 KS
中2 AS、KS、SS、SS

STEPHEN'S NEWS

「中学校」クリスマス祝会の創作劇「虹を渡る」を終えて、生徒たちの言葉です。

僕はセリフを覚えることよりも、声出しで大きな声を出すことに集中した。なぜかというと、小学生の頃から大きな声を出すことが苦手だったからだ。でも、僕は役者を選んだ。決してセリフの長い役ではなかったが、少し挑戦してみたい気持ちがあったからだ。本番、舞台で自分のセリフを言うとき、心の中で「大きな声で」というのがあった。セリフが終わって、大きな声が出たと思った。劇が終わった時、楽しかったと思った。（キャストY）

本格的な練習が始まって、結構失敗もしましたが、照明はいやだなとは思いませんでした。逆に「あつ、こうすれば失敗しないんだ。」と直しながらやりました。本番は、ボスと二人の社員のところがおもしろくて、緊張とかしていかないのかなと思いました。雨田さんの登場シーンの曲があつてゐるなとか、ネコの演技力、ヤバツとか思いながら照明の仕事をしていました。（照明H）



劇は表も大事だが、裏も大事だと思う。役者はお客さんに見えるけれど、裏方は劇中はお客さんには見えていないと思うので、何をやってゐるかはぼくからには分からないと思う。僕は小道具で、プレゼントボックス、雪の守のシャクとかいろいろな物を作った。（中略）役者も大事ですが、裏方も忘れずに。（小道具H）

実は、八年間いた中で、初めて演技をした。だから、新鮮だったことがたくさんある。例えば、動きを覚えたり、セリフに抑揚をつけたり：今までにないことばかりで、思っていたより大変だった。嫌だな、向いてないな、と思うことも多々あった。それでも、練習しているうちに慣れて、新しいセリフや動きを加えたりした。すると褒められたりして、少し自信がついた。私は本番に弱いところがあつた、思い通りにいかないこともあつたが、無事に終わらせることができた。（キャストS）

ぼくが作ったのは、四場で使う雪の木と、小道具ですが雨の司のシャクです。雪の木は大きい発泡スチロールを木の形に切つて、スノースプレーをかけるだけのシンプルな作りですが、発泡スチロールを切るだけでも、どういうふうにしようか？こんなふうがいいのか？と色々考えて作るの楽しいです。あと、スノースプレーは魔法使いになったような気分になって：。（小道具Y）

準備期間は大変で、とても疲れたけれど、充実した時間だった気がする。何故なら、祝会が終わって肩の荷が下りて安心した一方で、この期間が終わるのが少し寂しい気がしたし、実際その後は普段の生活に戻り、退屈に感じたからだ。本番は、自分としてはとても満足 of いく仕事をしたと思う。長かったけれど短くも思えるこの期間は、とても充実していた。来年もこんな風に、今度は中三という立場でできると思うと、嬉しく感じる。（小道具K）

先生は、劇の最後に雪の守を死なせるか、それとも生きさせるかと私に聞きました。今までの劇は、悪役は最後、主人公に倒される展開になったけれど、今回の劇では、ボスたちに倒されて雪の守が消滅するのではなく、雪の守も雨の司と和解して一緒に虹を見てみたいと思う、私は生きる方を選びました。（キャストN）

最後に、舞台に関係していた全ての人を僕が観客に紹介するシーンがありました。どうしても劇は役者が目立ちがちですが、それ以外の舞台に携わった人を紹介できる重要な役目を頂きました。本当に最高の瞬間でした。でも、もっと最高だったのは、最後のカーテンコールです。観客の皆様が満足そうな顔で拍手してくれていたのが、今までの努力が報われたような気がして嬉しかったです。感謝の気持ちでいっぱいです。（キャストS）



二十代の先輩からのメッセージ(二)

今月号はお二人をご紹介します。まずは小林由香さんです。

—今は何をされていますか？

「美術・芸術分野が得意な、身体・知的・精神障害がある人たちとアートを通して活動をしています。でも、経済的には厳しいので、将来の職業についても考えています。」

—ステパノで印象に残っていることは？

「少人数なので他の学年の人たちとも仲良くなれることです！イベントも多くて生徒も先生とも接する機会が多いところが良いです。」

礼拝も印象に残っています。またお祈りしたいです。給食では少食、偏食の私にとっては少し苦しかった思い出もあります。」

—あなたにとって、ステパノとは？

「心を見直す人生の原点のようなものです。ステパノに入って厳しい教育を受け、様々な礼儀やマナーを学びました。個性的な友達にも沢山出会うことができ、良い思い出できました。卒業して学生時代はステパノロスが続き、学園に頻繁に行って当時の在校生と関わったりしてました。卒業して八年以上経過し、今では通う場所ができ、新しい趣味もできました。」

—先輩へメッセージをお願いします！

「ステパノ在学での時間は長いようであつという間です。様々な個性的な子がいると思いますが、誰かをばかにしたりする言動はしないであげてください。(私は今でも子どもっぽいものが大好きなので。)後悔しないように生活を送ってください。」

* * *

お二人目は米田毅さんです。

—今は何をされていますか？

「環境系の勉強をしています。作年の夏に、水処理会社の内定が出ました。いわゆる環境問題だけでなく、色々な事を学ぶ必要があつて難しいけれど楽しいです。」

—ステパノで印象に残っていることは？

「佐藤先生の楽しい理科の授業が一番印象に残っています。他にも楽しい思い出は沢山ありますが、あえて一つあげるならこれです。」

—あなたにとって、ステパノとは？

「三年間を過ごした思い出深い場所というだけでなく、卒業後もステパノ祭りのような機会があれば訪れたくなる場所でもあります。」

—先輩へメッセージをお願いします！

「ステパノでの経験はその後の人生で活かされる経験だと思います。勉強だけでなく、先生や友達との交流や、学校の行事など様々なことを楽しんで思い出にしましょう！」

次号もお楽しみに！

STEPHEN'S NEWS

・漢字能力検定

五級合格 中1 Y A

・実用英語技能検定

三級 合格 中3 A S、S N、F J

準二級 合格 中2 G S

・第27回児童福祉施設女子駅伝大会

公益財団法人資生堂財団賞(第2区) 小6 F H

・大磯町民ロードレース大会

中学男子1年の部

第一位 M K 第二位 F Y 第三位 H H

中学女子1年の部

第一位 Y A 第二位 K M

中学男子2年の部

第一位 U M 第二位 G S 第三位 K Y

中学男子3年の部 第一位 I M

中学女子3年の部 第一位 N S 第二位 I N

尚、本学教諭のS Kも出場し、一般男子15歳以下

29歳以下の部で三位入賞しました。

また、出場した全員が記録証を頂きました。

・中郡ロードレース大会

中学男子の部 第四位 U M (中2)

【編集後記】

3学期が始まりました。マラソン大会に向けて、子ども達は走る練習に励んでいます。(二)

代表者 学園長 小川 正夫

発行者 聖ステパノ学園小学校・中学校

ステパノだより編集委員会

〒255-0003 神奈川県中郡大磯町大磯868

TEL 0463-61-1298

FAX 0463-61-9739

http://www.stephen-oiso.ed.jp

二〇二〇年一月十日(金)発行 第239号